

製品名: RFX2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17065**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	RFX2
別名	RFX2; DNA-binding protein RFX2; Regulatory factor X 2
遺伝子 ID	5990.0
SwissProt ID	P48378
免疫原	抗血清はヒト RFX2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 661-710

背景

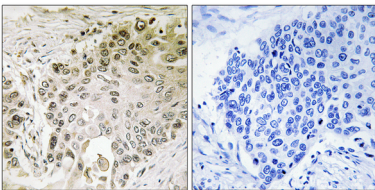
この遺伝子は、高度に保存された翼状ヘリックス DNA 結合ドメインを含む転写因子をコードする、調節因子 X 遺伝子ファミリーのメンバーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、調節因子 X1、X3、X4、および X5 と構造的に関連しています。これは

転写活性化因子であり、単量体として、または他の RFX ファミリーメンバーとのヘテロ二量体として DNA に結合できます。このタンパク質は、IL-5 受容体 α 遺伝子のプロモーター領域のシスエレメントに結合できます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが記載されており、どちらのバリエーションも異なるポリアダニル化部位を利用しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]類似性: RFX ファミリーに属します。、

研究分野

-

画像データ



RFX2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。